



## 心身ともにたくましい子どもを目指す 杉並区立桃井第二小学校



このシリーズの第9回は、桃井第二小学校の裕寛校長先生からお話を伺いました。

### ★概要

桃井第二小学校は、昭和3年4月、桃井第一尋常小学校より分かれ、「東京府豊多摩郡井荻町立桃井第二尋常小学校」として開校しました。平成30年4月には開校90周年を迎え、31年3月に新校舎が完成、令和元年12月には90周年記念式典が行われました。通常学級19、特別支援学級4、児童数572名（令和3年5月現在）です。昭和11年に制定された校歌は与謝野晶子作詞、山本直忠作曲で、杉並区指定文化財に認定されています。

### ★桃井第二小の特色

「心身ともにたくましい子ども」を目指し、3つの教育目標を掲げています。一つ目は「進んで学ぶ子ども」で、学習だけではなく委員会活動やクラブ活動、それに6年生がリーダーとなって1年生から6年生まで全員が参加し進んで学ぶ「縦割り班活動」があります。

二つ目は「仲良く助け合う子ども」です。これには縦割り班活動も効果があり、高学年が助け合いの手本となり、それを見た低学年が自分もいい高学年になろうと刺激を受けているそうです。

三つ目の目標は「進んで体をきたえる子ども」。地域の方々が、火曜と木曜の週2回、子供たちが授業のはじまる前に校庭で野球やサッカー、鬼ごっこをして自由に遊ぶのを見守る「朝にわ」というユニークな活動もあります。

「ひまわり学級」と呼ばれる特別支援学級は杉並区内に10校あり、桃二小はその一つです。ひまわり学級の児童は、教科によっては普通学級の授業に加わったり、区別なく遊んだりする様子も見るすることができます。



楽しい外遊び



ゲストティーチャーによる本の読み聞かせ

### ★デジタル授業の先進校

杉並区では児童全員にタブレットが配布されましたが、桃二小では校舎の改築に伴い、全教室に「シンクボード」という大きなディスプレイが設置されました。タブレットとシンクボードを連携させ、児童がタブレットに打ち込んだ意見をシンクボードにずらりと並べ、それをもとに話し合いをする新しい試みも可能となりました。

火曜と木曜に授業がはじまる前15分間の「朝学習」で、今年から3年生以上はタブレットを使った漢字の勉強や算数の計算などの基礎学習を進めています。5、6年生はタブレットで資料を作り、写真をインターネットから取り入れながら自分の考えを書き、それをシンクボードに映し出して意見交換しています。

桃二小では、デジタルだけでなく、改装で図書室が新しくなったこともあり児童が本を手に取り読むことにも力を入れていきます。読んだ本を紹介し合う「ビブリオバトル」で、本を読むのはあまり好きではない児童も面白い発表をしてチャンピオンに選ばれ大いに喜ぶケースもあり、新しい試みが成果を上げています。

### ★裕校長の思い

裕寛（はざま・ひろむ）校長は、和田小学校長を務めた後、平成30年4月に桃二小に赴任。ちょうどその時期、校舎は改築工事中で、1年後に新校舎が完成しました。赴任して一番驚いたのは授業のデジタル化で、「私の時代は考えられなかった」そうです。一方、地域の方々が、「朝にわ」などで子供たちを見守り、育てる取組を積極的にやっている「温かい地域」との印象を抱いておられます。



各学級で作った「あいさつ標語」のリモートによる発表

### 杉並区立桃井第二小学校

住所:167-0051 東京都杉並区荻窪5-10-25 電話:03-3392-6728  
ホームページ:<http://www.suginami-school.ed.jp/momo2shou/>